

# 九電 太陽光発電停止へ

## きょう実施 原発稼働を優先

九州電力は12日、太陽光や風力などの再生可能エネルギー事業者に対し発電の一時停止を求める「出力制御」を、13日に実施すると発表した。太陽光発電などの停止要請は、離島を除き広域では国内初となります。

九電は11日に13、14日の両日に出力制御の可能性が

あると発表していました。対象は福岡から鹿児島までの管内7県の約2万4000戸に上る事業者。対象となる13、14の両日は土曜日、日曜日に当たり、九電は需要見込みを示していませんが、前後の曜日の予想最大電力は1000万キロワット強。九電の再生可能エネルギー導入量の大半を占める太陽光は8月末の接続量が1160万キロワットあります。風力だけだと、再生可能エネルギーをおさえたいかっこうです。

予想最大電力を上回りません。一方、九電は玄海原発3、4号機と川内原発1、2号機を稼働させており、4機あわせて414万キロワットです。今回の「出力制御」は原発の稼働を優先させて、再生可能エネルギーを減らすかっこうです。また今後は、関西や中国・四国など、他の地域に余った電力を回せるよう地域間の系統連系網を強化し、再生可能エネルギーを優先利用できる環境を整える必要があります。

予増最大電力を上回りません。一方、九電は玄海原発3、4号機と川内原発1、2号機を稼働させており、4機あわせて414万キロワットです。今回の「出力制御」は原発の稼働を優先させて、再生可能エネルギーを減らすかっこうです。また今後は、関西や中国・四国など、他の地域に余った電力を回せるよう地域間の系統連系網を強化し、再生可能エネルギーを優先利用できる環境を整える必要があります。

NGO火力発電を止めて調整しています。燃料費がかかるので、原発と石炭火力をベイスロッド電源と位置付けていますが、他国のように再生可能エネルギーの優先利用を基本とするよう改めるべきです。

### 再生可能エネこそ優先を

和田武・元日本環境学会会長の話 電力の需給バラツキをどうにかすることが当然必要



和合長の話 電力の需給バラツキをどうにかすることが当然必要